

1. 建設投資の概況

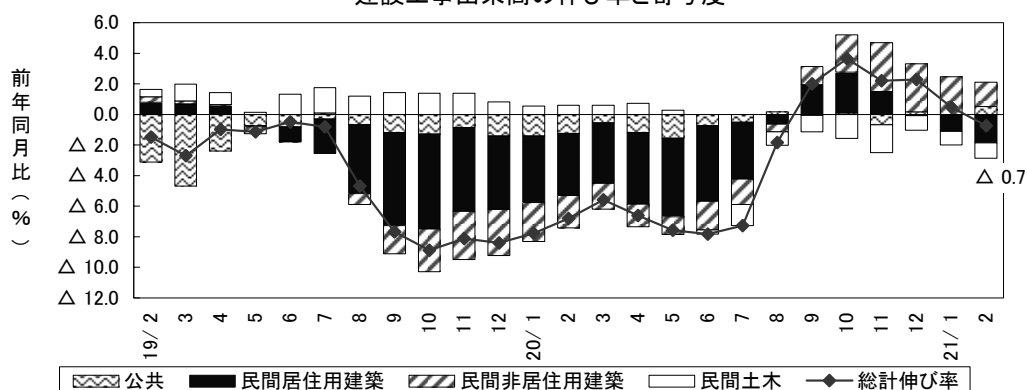
(1) 建設工事出来高

2月の建設工事出来高は、全体で4兆233億円と前年同月比0.7%減少した。

公共は、建築が1,903億円（前年同月比1.2%減）、土木が1兆3,833億円（同1.7%増）となり、全体では1兆5,735億円（同1.3%増）となった。

民間は、建築が1兆9,392億円（前年同月比0.5%減）、土木が5,107億円（同7.3%減）となり、全体では2兆4,498億円（同2.0%減）となった。

建設工事出来高の伸び率と寄与度



(単位：億円)

区分	年度年月	総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
年	17年度	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	59,934	197,376
	18	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	63,665	175,608
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	68,969	169,927
年	18年	531,392	350,651	288,068	194,400	93,669	62,582	180,741
	19	509,301	338,004	269,815	181,476	88,339	68,189	171,297
	20	492,828	324,583	258,653	171,208	87,445	65,930	168,244
月	20年11月	46,430	29,194	23,787	15,524	8,263	5,407	17,236
	12	48,182	29,375	23,522	15,250	8,272	5,852	18,808
	21年1月	37,751	22,870	18,269	11,725	6,545	4,600	14,881
	2	40,233	24,498	19,392	12,388	7,003	5,107	15,735

(前年比・%)

年	17年度	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
	18	△ 1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△ 11.0
	19	△ 5.4	△ 6.4	△ 9.6	△ 9.9	△ 9.1	8.3	△ 3.2
年	18年	△ 0.2	5.0	4.5	4.3	5.0	7.3	△ 9.0
	19	△ 4.2	△ 3.6	△ 6.3	△ 6.6	△ 5.7	9.0	△ 5.2
	20	△ 3.2	△ 4.0	△ 4.1	△ 5.7	△ 1.0	△ 3.3	△ 1.8
月	20年2月	△ 6.8	△ 8.8	△ 12.1	△ 11.8	△ 12.7	5.1	△ 3.4
	3	△ 5.6	△ 7.9	△ 11.5	△ 12.1	△ 10.3	4.3	△ 1.5
	4	△ 6.6	△ 8.0	△ 11.2	△ 12.7	△ 8.2	5.7	△ 3.7
	5	△ 7.6	△ 8.2	△ 10.4	△ 12.6	△ 5.9	2.1	△ 5.8
	6	△ 7.8	△ 9.6	△ 11.3	△ 12.2	△ 9.6	△ 1.9	△ 2.9
	7	△ 7.3	△ 9.2	△ 9.1	△ 9.4	△ 8.4	△ 9.7	△ 1.9
	8	△ 1.8	△ 2.9	△ 2.0	△ 1.7	△ 2.6	△ 6.5	0.6
	9	2.0	3.1	5.9	5.6	6.5	△ 7.5	△ 0.2
	10	3.6	5.6	10.3	8.0	15.0	△ 11.4	0.3
	11	2.2	4.7	9.8	4.6	21.3	△ 13.3	△ 1.7
	12	2.3	3.5	6.5	△ 0.2	21.7	△ 7.1	0.4
	21年1月	0.5	0.8	2.9	△ 3.4	16.6	△ 6.9	0.0
2	△ 0.7	△ 2.0	△ 0.5	△ 5.7	10.3	△ 7.3	1.3	
累計	4月～2月	△ 1.7	△ 2.1	△ 1.1	△ 3.7	4.4	△ 6.1	△ 1.0

資料：国土交通省「建設総合統計」

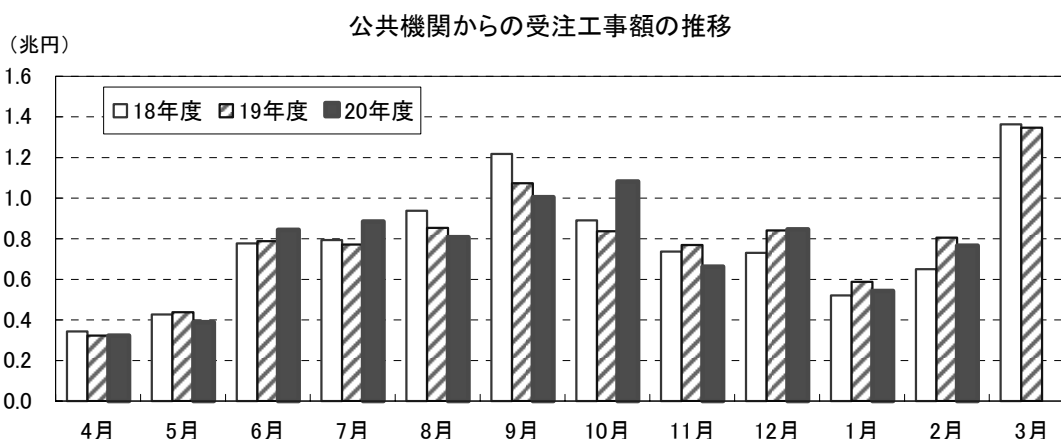
(2) 公共機関からの受注工事

2月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は7,658億円で、前年同月比4.9%減少（2ヶ月連続）した。うち国の機関からは4,424億円で同11.4%減少（4ヶ月連続）、地方の機関からは3,234億円で同5.7%増加（2ヶ月ぶり）した。

工事分類別でみると、教育・病院（前年同月比86.5%増、寄与度+6.7）、治山・治水（同29.1%増、寄与度+2.6）等が増加し、鉄道・軌道（同82.3%減、寄与度-7.3）、道路（同7.4%減、寄与度-3.2）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、国以外の機関の鉄道・軌道（寄与度-7.2）、国の道路（寄与度-2.8）等のマイナスの寄与度が大きい。

2月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比26.5%減少（2ヶ月連続）した。

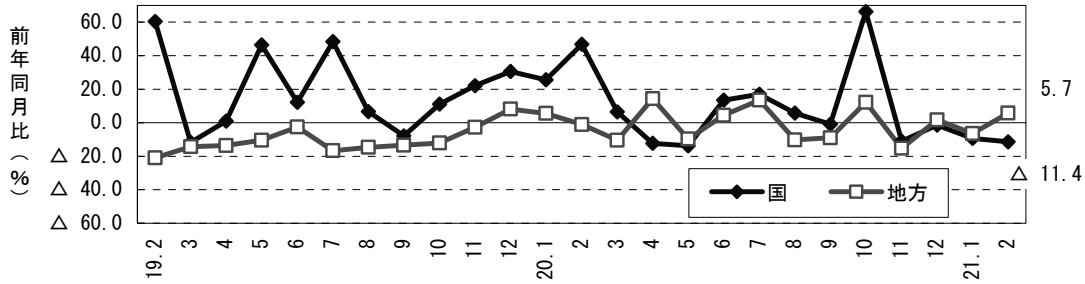


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年度	17年度	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
	18	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	△ 18.5	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8
	19	0.5	16.9	8.7	29.7	△ 8.0	△ 2.8	△ 11.4	△ 2.5	△ 33.5
年	18年	△ 18.8	△ 28.6	△ 30.8	△ 24.8	△ 13.0	△ 14.1	△ 15.2	△ 2.1	△ 1.0
	19	△ 3.6	11.3	2.2	25.9	△ 10.8	△ 7.8	△ 10.8	△ 11.7	△ 34.8
	20	3.8	12.7	11.4	14.5	△ 1.5	△ 1.3	0.1	△ 5.8	△ 11.7
月次	20年2月	24.0	46.8	56.0	35.4	△ 1.0	△ 0.6	△ 6.2	53.5	△ 34.3
	3	△ 1.2	6.6	4.7	10.2	△ 10.5	△ 11.4	△ 2.8	△ 13.3	△ 47.6
	4	0.1	△ 12.3	△ 12.7	△ 11.8	14.3	△ 12.4	18.5	51.9	57.1
	5	△ 11.1	△ 13.8	26.1	△ 38.8	△ 9.7	△ 37.4	1.5	40.6	△ 3.7
	6	7.1	13.5	△ 35.2	88.3	4.5	9.9	0.1	5.4	24.2
	7	14.7	17.0	21.1	11.9	13.5	6.5	22.5	△ 14.7	55.4
	8	△ 5.4	5.8	△ 9.6	31.1	△ 10.3	△ 9.2	△ 1.7	△ 42.4	△ 27.2
	9	△ 6.4	△ 0.9	2.1	△ 4.6	△ 9.0	△ 4.9	△ 4.7	△ 33.7	△ 38.6
	10	29.2	66.4	45.3	94.0	12.2	19.2	5.8	15.1	△ 12.2
	11	△ 13.9	△ 10.9	△ 0.5	△ 20.3	△ 15.3	△ 5.4	△ 20.5	△ 37.9	△ 36.9
	12	0.5	△ 1.5	21.0	△ 18.9	1.7	△ 11.5	5.6	61.0	14.5
	21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 11.8	△ 6.2	△ 6.5	△ 10.7	△ 7.9	32.0	13.1
2	△ 4.9	△ 11.4	△ 8.5	△ 15.7	5.7	△ 2.2	8.4	△ 6.0	98.3	
累計	4月～2月	0.8	3.7	1.6	6.1	△ 0.9	△ 3.3	1.3	△ 2.5	8.3

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	93,878	31,969	61,909	20,867	122,838	175,608	212,322
19	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,608
20年 I 期	27,398	15,264	12,134	9,427	26,287	47,664	56,565
II	15,555	5,386	10,170	4,045	28,444	31,682	37,736
III	26,965	9,034	17,932	5,223	33,180	36,741	44,750
IV	25,897	9,567	16,329	6,590	27,990	52,157	61,651
20年9月	10,040	3,304	6,737	1,637	11,724	13,883	
10	10,818	4,372	6,446	3,016	11,697	16,114	
11	6,621	2,273	4,349	1,259	8,443	17,236	
12	8,457	2,923	5,535	2,315	7,850	18,808	
21年1月	5,432	2,138	3,295	1,248	6,019	14,881	
2	7,658	4,424	3,234	2,476	6,349	15,735	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 14.2	△ 15.6	△ 5.2	△ 11.0	△ 7.7
19	0.5	16.9	△ 8.0	0.8	△ 4.1	△ 3.2	△ 4.1
20年 I 期	8.1	20.2	△ 3.9	18.8	△ 5.2	△ 2.8	△ 5.6
II	0.5	△ 1.9	1.8	17.4	△ 8.4	△ 4.1	△ 4.2
III	△ 0.1	6.5	△ 3.1	30.7	4.7	△ 0.4	△ 0.9
IV	5.8	17.4	0.0	58.3	△ 2.8	△ 0.3	△ 1.3
20年2月	24.0	46.8	△ 1.0	45.9	13.1	△ 3.4	
3	△ 1.2	6.6	△ 10.5	△ 0.4	△ 12.6	△ 1.5	
4	0.1	△ 12.3	14.3	△ 3.3	△ 4.7	△ 3.7	
5	△ 11.1	△ 13.8	△ 9.7	△ 12.7	△ 9.6	△ 5.8	
6	7.1	13.5	4.5	44.0	△ 11.3	△ 2.9	
7	14.7	17.0	13.5	93.9	13.8	△ 1.9	
8	△ 5.4	5.8	△ 10.3	14.0	△ 6.0	0.6	
9	△ 6.4	△ 0.9	△ 9.0	2.7	5.5	△ 0.2	
10	29.2	66.4	12.2	242.0	△ 0.4	0.3	
11	△ 13.9	△ 10.9	△ 15.3	3.9	△ 2.8	△ 1.7	
12	0.5	△ 1.5	1.7	11.9	△ 6.4	0.4	
21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 6.5	△ 26.0	1.9	0.0	
2	△ 4.9	△ 11.4	5.7	△ 26.5	△ 2.8	1.3	
4月~2月	0.8	3.7	△ 0.9	17.5	△ 1.9	△ 1.0	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

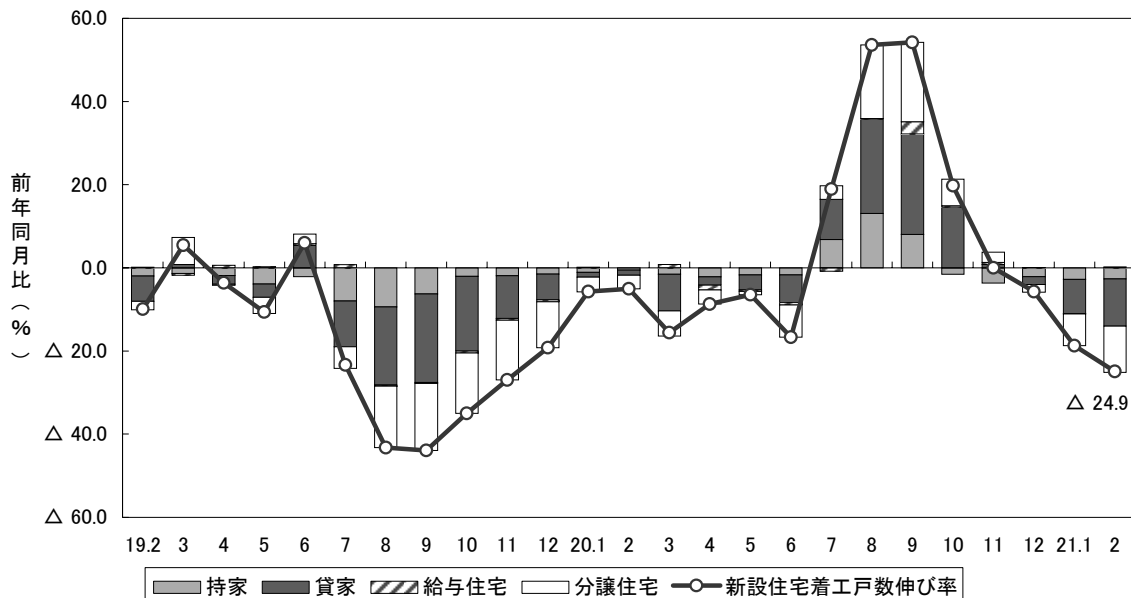
2月の着工は62,303戸。前年同月比でみると、持家、貸家、分譲住宅がともに減少したため、全体で24.9%減少（3ヶ月連続）となった。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成19年10-12月期989千戸（前期比25.9%増）、平成20年1-3月期1,129千戸（同14.1%増）、4-6月期1,115千戸（同1.2%減）、7-9月期1,102千戸（同1.2%減）、10-12月期1,031千戸（同6.4%減）、平成21年1月957千戸（前月比4.4%減）、2月866千戸（同9.5%減）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家	貸家	分譲住宅		季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)
						マンション		
年度	年月							
	17年度	17年度	1,249,366	4.7	△ 4.0	10.8	6.1	11.2
18		1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8	
19		1,035,598	△ 19.4	△ 12.3	△ 19.9	△ 26.1	△ 34.0	
18年	18年	1,290,391	4.4	1.5	7.8	2.7	4.0	—
	19	1,060,741	△ 17.8	△ 12.2	△ 18.7	△ 22.3	△ 29.2	—
	20	1,093,485	3.1	1.2	5.2	1.8	8.1	—
20年次	20年2月	82,962	△ 5.0	△ 2.1	△ 3.1	△ 9.7	△ 11.9	1,153
	3	83,991	△ 15.6	△ 6.1	△ 22.0	△ 18.0	△ 22.2	1,118
	4	97,930	△ 8.7	△ 7.8	△ 5.3	△ 10.4	△ 10.7	1,155
	5	90,804	△ 6.5	△ 5.7	△ 8.6	△ 3.1	4.0	1,095
	6	100,929	△ 16.7	△ 6.6	△ 15.1	△ 27.2	△ 36.5	1,109
	7	97,212	19.0	23.1	22.7	12.7	15.9	1,097
	8	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	128.8	1,098
	9	97,184	54.2	19.9	66.9	82.8	217.6	1,109
	10	92,123	19.8	△ 4.3	35.4	28.9	96.3	1,044
	11	84,277	0.0	△ 11.7	1.7	11.0	43.3	986
	12	82,197	△ 5.8	△ 7.3	△ 4.1	△ 7.5	5.0	1,001
	21年1月	70,688	△ 18.7	△ 10.8	△ 18.4	△ 26.4	△ 25.1	957
	2	62,303	△ 24.9	△ 9.9	△ 28.5	△ 34.4	△ 35.6	866
累計	4月～2月	972,552	2.2	0.7	4.3	0.6	9.4	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

2月の着工は 20,278 戸。沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 9.9%減少（5ヶ月連続）した。

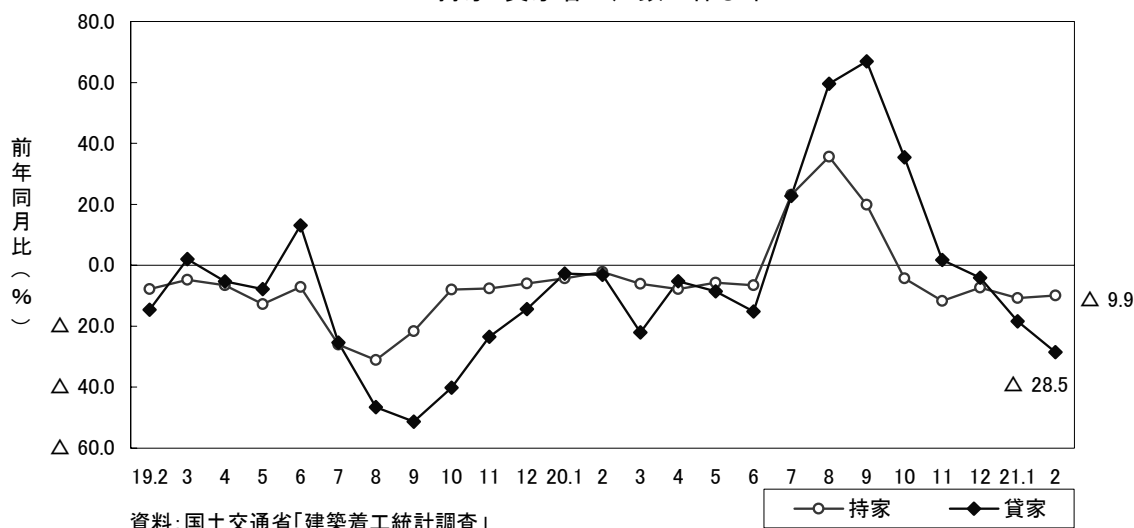
<貸家>

2月の着工は 23,652 戸。沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 28.5%減少（3ヶ月連続）した。

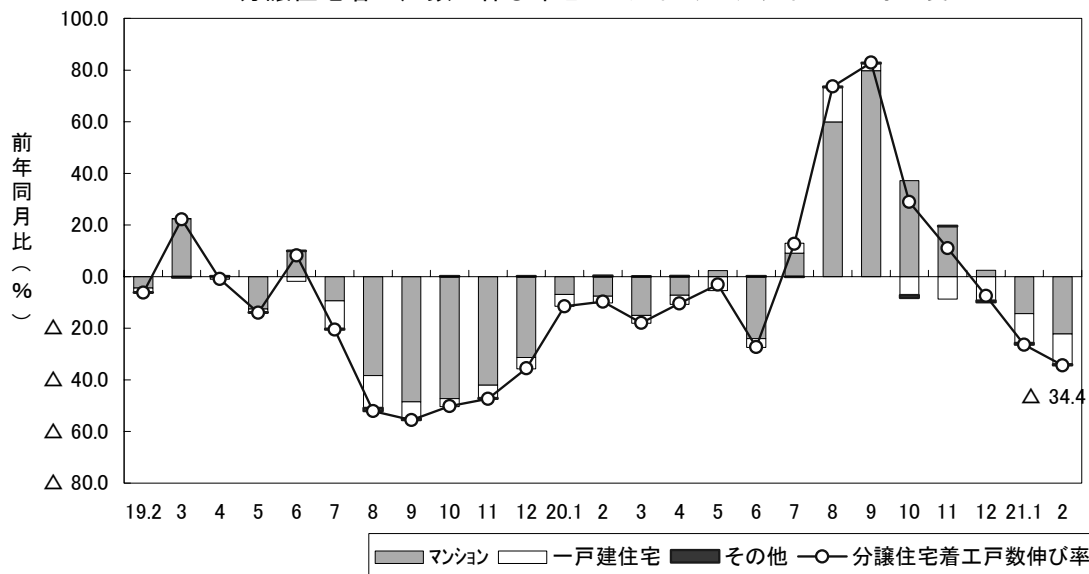
<分譲>

2月の着工は 17,558 戸。中国、九州及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 34.4%減少（3ヶ月連続）した。マンションは 10,736 戸で、首都圏は減少（5,462 戸、前年同月比 44.3%減、2ヶ月連続）、中部圏は減少（587 戸、同 51.4%減、3ヶ月ぶり）、近畿圏は減少（2,315 戸、同 26.6%減、3ヶ月連続）、その他の地域は減少（2,372 戸、同 5.4%減、2ヶ月連続）し、全体では同 35.6%減少（2ヶ月連続）した。一戸建住宅は 6,741 戸で、同 31.7%減少（5ヶ月連続）した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



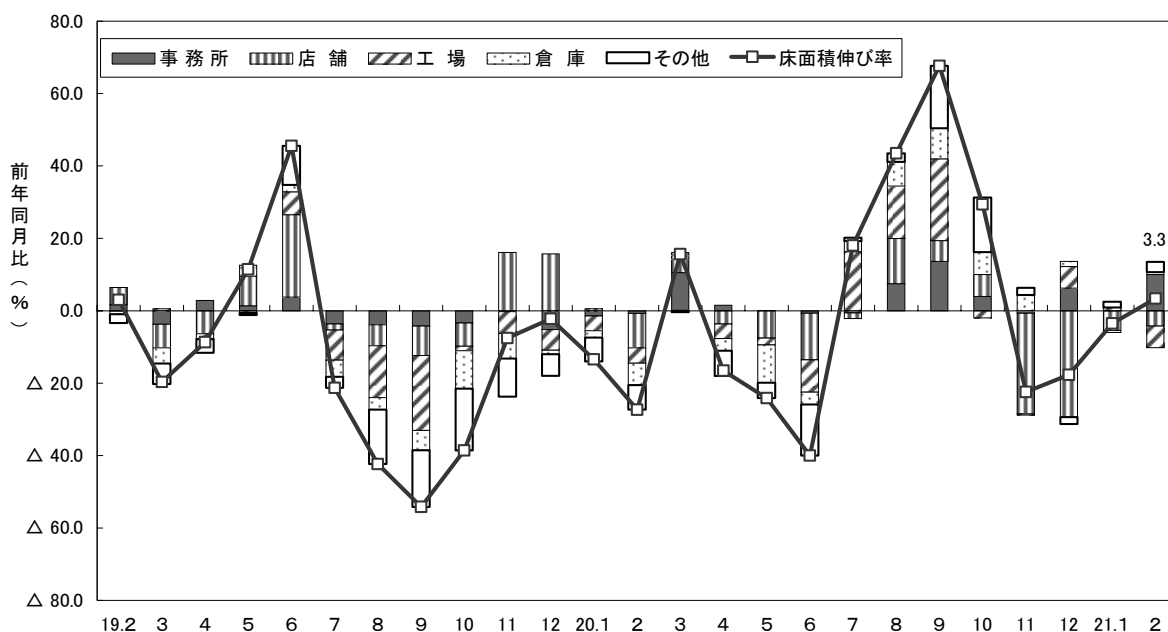
(4) 民間非居住建築

2月の着工床面積は379万㎡で、前年同月比3.3%増加(4ヶ月ぶり)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は87万㎡で前年同月比72.8%増加(3ヶ月連続)、店舗は46万㎡で同25.3%減少(4ヶ月連続)、工場は67万㎡で同24.6%減少(3ヶ月ぶり)、倉庫は48万㎡で同5.2%増加(2ヶ月ぶり)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成21年3月実施)で平成21年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比13.2%減少(平成20年度前年度比2.4%減少)となり、非製造業(大企業)は同2.7%減少(平成20年度同3.8%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は23、「先行き」は21となり、設備過剰感は大幅に高まっている。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年度	17年度	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6
	18	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
	19	△ 12.2	△ 5.2	14.9	△ 21.9	△ 19.1	△ 8.3	3.2	13.6	△ 15.1	△ 13.4
年	18年	2.5	△ 9.2	△ 2.0	11.4	16.1	4.4	△ 13.2	4.9	16.8	22.5
	19	△ 11.6	△ 8.0	13.9	△ 21.0	△ 15.5	△ 10.6	△ 7.8	11.2	△ 17.4	△ 8.1
	20	△ 7.3	22.0	△ 33.6	4.9	△ 5.1	11.3	43.1	△ 20.8	38.9	11.4
月	20年2月	△ 27.3	△ 6.7	△ 43.9	△ 19.5	△ 40.0	△ 16.0	17.4	△ 36.6	2.7	△ 35.4
	3	15.7	85.3	22.8	4.4	5.0	36.8	142.2	29.0	30.9	△ 1.3
	4	△ 16.6	10.6	△ 23.4	△ 18.1	△ 23.5	△ 5.6	26.6	△ 33.0	△ 4.5	△ 5.9
	5	△ 24.1	0.3	△ 37.8	△ 9.5	△ 49.7	3.7	6.4	△ 17.8	4.8	△ 27.9
	6	△ 40.0	△ 7.6	△ 49.5	△ 41.9	△ 29.1	△ 33.6	4.9	△ 44.6	△ 26.6	△ 13.4
	7	18.0	△ 6.6	△ 7.8	81.3	20.3	76.9	16.1	1.6	336.4	13.0
	8	43.5	75.7	107.1	77.6	32.6	64.0	88.4	169.5	109.2	96.2
	9	67.6	137.9	35.7	149.6	52.0	65.9	115.7	48.7	165.4	72.6
	10	29.4	34.3	52.4	△ 5.8	75.0	36.0	58.1	106.0	8.8	97.0
	11	△ 22.4	△ 6.5	△ 71.8	△ 1.7	66.4	△ 7.9	27.2	△ 64.2	△ 5.4	61.1
	12	△ 17.7	74.3	△ 77.5	33.7	13.8	8.0	117.5	△ 70.2	62.3	26.5
	次	21年1月	△ 3.5	0.2	△ 24.8	4.8	△ 3.3	17.1	18.3	△ 25.7	50.6
2		3.3	72.8	△ 25.3	△ 24.6	5.2	36.7	121.6	△ 21.4	△ 17.4	21.7
累計	4月~2月	△ 5.7	25.0	△ 37.4	7.2	△ 0.8	15.6	47.4	△ 25.8	44.4	18.7

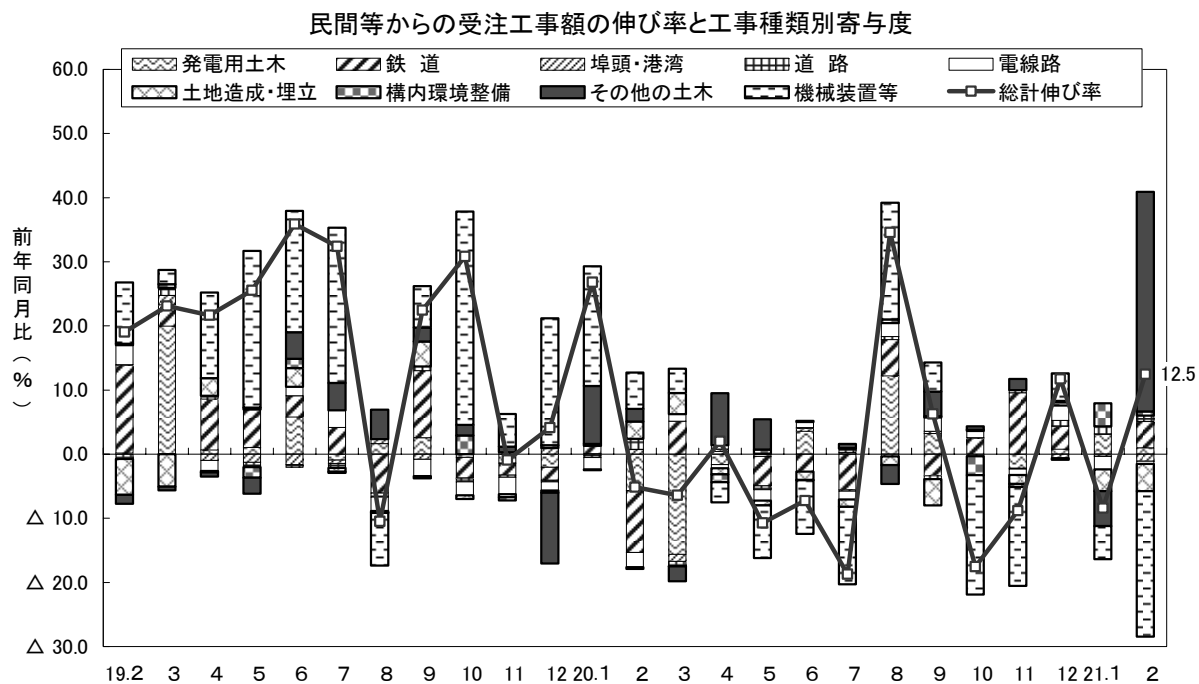
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

2月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は3,168億円で、前年同月比12.5%増加（2ヶ月ぶり）した。

発注者別でみると、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業（前年同月比1,402.0%増、寄与度+36.3）、運輸業、郵便業（同22.0%増、寄与度+4.0）等が増加し、製造業（同52.2%減、寄与度-19.1）、電気・ガス・熱供給・水道業（同21.9%減、寄与度-4.5）等が減少した。

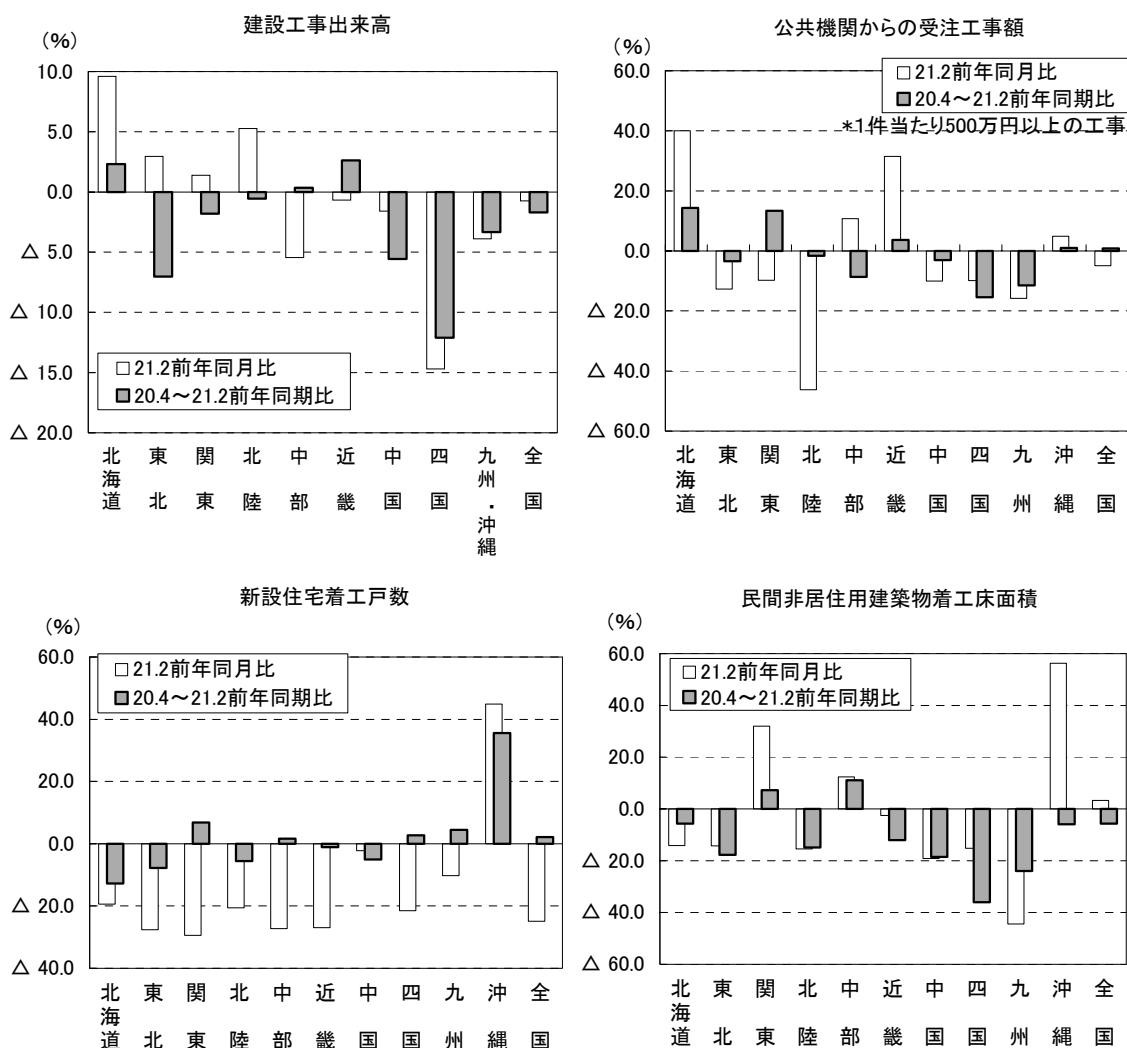
工事種類別でみると、管工事（寄与度+18.8）、その他の土木工事（寄与度+15.8）等が増加し、機械装置等工事（寄与度-22.7）、土地造成・埋立工事（寄与度-4.2）等が減少した。



区分		(前年比・%)								
年度年月		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年	17年度	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9
	18	13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
	19	12.5	△ 39.8	7.7	△ 23.0	△ 9.7	△ 7.2	18.1	3.1	35.1
年	18年	11.4	17.2	23.8	9.0	△ 9.8	16.4	1.1	17.2	5.3
	19	17.3	85.4	20.4	△ 8.7	△ 2.7	△ 1.6	△ 6.5	8.6	31.5
	20	△ 1.1	△ 22.5	1.1	△ 7.7	10.4	1.8	△ 4.1	△ 8.7	△ 3.6
月	20年2月	△ 5.1	△ 84.2	△ 41.9	128.4	294.6	△ 22.3	51.8	△ 10.2	14.2
	3	△ 6.4	△ 89.7	24.1	△ 42.3	△ 48.7	17.6	50.3	4.0	13.7
	4	2.0	△ 34.9	2.6	35.3	44.4	△ 3.7	△ 11.9	△ 28.9	△ 8.7
	5	△ 10.7	△ 13.5	△ 28.2	20.1	△ 40.5	△ 18.9	△ 10.8	23.0	△ 16.9
	6	△ 7.3	63.2	△ 18.4	47.3	5.7	8.6	△ 13.8	△ 2.0	△ 21.5
	7	△ 18.7	24.4	△ 39.8	△ 67.4	90.3	△ 7.1	△ 25.1	2.2	△ 27.7
	8	34.6	331.6	36.4	△ 22.0	41.2	21.9	△ 17.7	15.2	46.3
	9	6.3	48.9	△ 15.1	91.0	△ 28.6	29.2	△ 44.2	7.3	13.1
	10	△ 17.5	△ 5.2	27.4	3.8	△ 21.4	11.6	3.4	△ 57.4	△ 31.8
	11	△ 8.8	△ 47.6	86.5	△ 11.7	46.0	△ 9.6	△ 19.2	△ 16.4	△ 31.7
	12	11.7	34.1	27.2	△ 32.9	68.4	27.0	△ 3.6	14.9	8.5
	21年1月	△ 8.4	291.5	△ 0.6	△ 36.1	118.4	△ 15.1	△ 59.9	163.5	△ 12.2
2	12.5	90.1	29.0	△ 80.1	39.5	△ 5.3	△ 50.3	26.0	△ 47.2	
累計	4月～2月	△ 1.4	54.7	3.8	△ 11.2	24.2	1.6	△ 24.2	2.8	△ 14.4

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

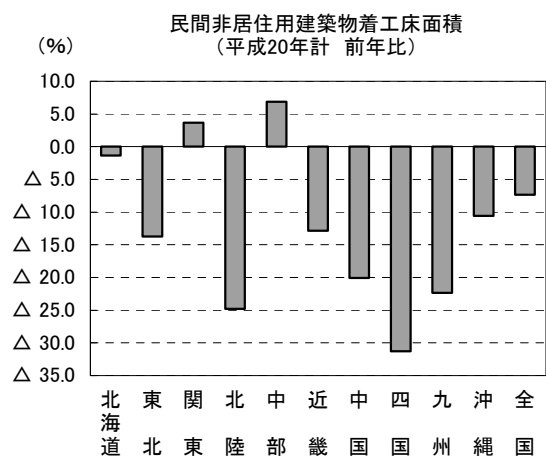
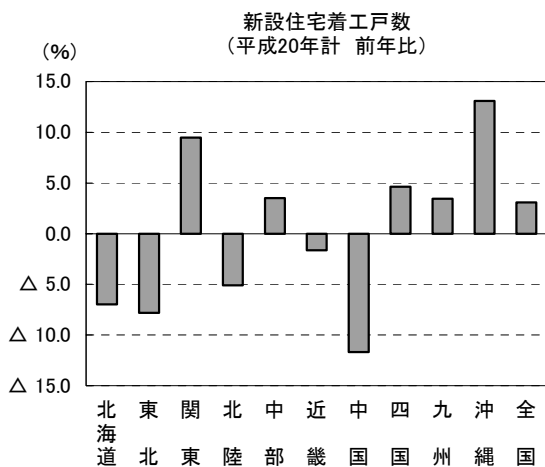
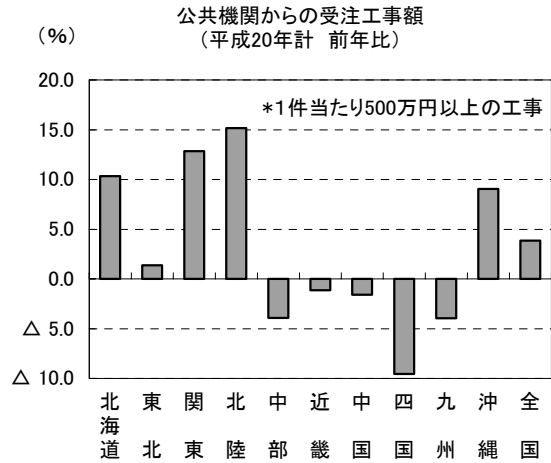
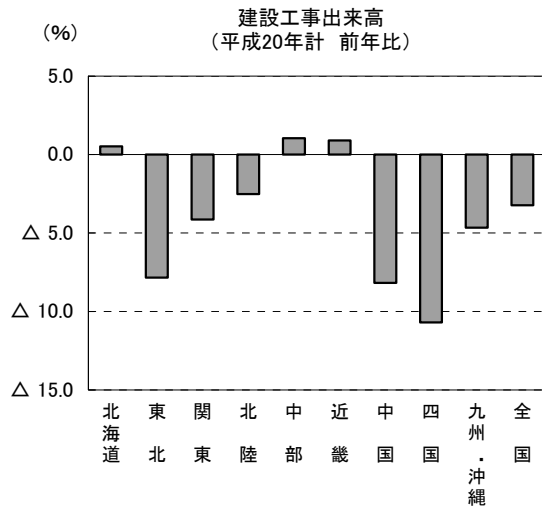
(6) 地域別動向



区分	出来高		受注・着工			企業倒産件数	雇用			
	建設工事出来高	公共機関受注	新設住宅	民間非居住用建築物	民間等受注(土木・機械)		建設技能労働者不足率(6職種計・原数値) 2月		有効求人倍率(季調済) 2月	
	4月～2月	4月～2月	4月～2月	4月～2月	4月～2月	前年比(%)	%	前年差	倍	前月差
	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
北海道	2.3	14.3	△ 12.8	△ 5.7	△ 18.3	28.1	△ 0.3	△ 0.1	0.44	0.02
東北	△ 7.0	△ 3.5	△ 7.8	△ 17.7	△ 14.7	8.0	△ 3.0	△ 1.1	0.38	△ 0.05
関東	△ 1.8	13.4	6.8	7.3	1.7	15.6	△ 1.5	0.5	0.68	△ 0.08
北陸	△ 0.6	△ 1.6	△ 5.6	△ 14.9	47.4	47.9	△ 2.2	△ 0.7	0.57	△ 0.10
中部	0.3	△ 8.7	1.6	11.1	9.3	17.6	△ 0.7	△ 0.0	0.65	△ 0.14
近畿	2.6	3.6	△ 1.1	△ 12.1	3.0	8.9	△ 4.1	△ 1.7	0.62	△ 0.07
中国	△ 5.6	△ 3.0	△ 5.0	△ 18.6	△ 14.3	30.8	△ 0.5	0.3	0.66	△ 0.08
四国	△ 12.1	△ 15.4	2.7	△ 36.1	△ 44.4	25.5	△ 1.4	△ 1.0	0.63	△ 0.05
九州	△ 3.3	△ 11.5	4.4	△ 24.0	△ 20.4	21.3	0.1	△ 0.2	0.46	△ 0.04
沖縄	—	1.0	35.6	△ 6.0	△ 51.1	16.7	0.9	0.2	0.31	△ 0.01
全国	△ 1.7	0.8	2.2	△ 5.7	△ 1.4	16.9	△ 1.4	△ 0.2	0.59	△ 0.07

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。
雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。



区分 地域	受注・着工				
	建設 工事 出来高 平成20年計	公共機関 受注 平成20年計	新設 住宅 平成20年計	民間非 居住用 建築物 平成20年計	民間等 受注 (土木・機械) 平成20年計
	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)
北海道	0.5	10.3	△ 7.0	△ 1.4	△ 23.4
東北	△ 7.8	1.4	△ 7.8	△ 13.8	△ 22.2
関東	△ 4.1	12.8	9.5	3.7	4.5
北陸	△ 2.5	15.1	△ 5.1	△ 24.8	14.2
中部	1.0	△ 3.9	3.5	6.9	29.4
近畿	0.9	△ 1.1	△ 1.6	△ 12.9	8.6
中国	△ 8.2	△ 1.6	△ 11.7	△ 20.1	△ 19.8
四国	△ 10.7	△ 9.6	4.6	△ 31.3	△ 41.3
九州	△ 4.7	△ 3.9	3.5	△ 22.3	△ 12.7
沖縄	—	9.0	13.1	△ 10.6	△ 77.8
全国	△ 3.2	3.8	3.1	△ 7.3	△ 1.1

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」
注）建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。